

## 経営概況

### 2015年3月期 第3四半期の業績

当第3四半期連結累計期間（2014年4～12月）におけるわが国経済は、政府の金融政策や経済対策により企業収益が改善するなど緩やかな回復基調にありましたが、消費税率引き上げや急激な円安に伴う物価上昇により個人消費の低迷が懸念される等、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループ（当社および連結子会社）の主な事業分野である携帯電話等販売市場においては、期初には前期末の駆け込み需要の反動により販売は低調に推移したものの、主要通信事業者3社による新料金プランの導入に加え、魅力的な新機種が発売等により、販売は回復基調となっております。

このような事業環境下、当社グループの携帯電話等販売台数は371万台となり、スマートフォンの販売比率は7割強で推移いたしました。

モバイル事業においては、効率的な店舗運営や全社的な業務効率化等の構造改革を推進し、

生産性や業務品質の向上に努めたことに加え、スマートフォン比率の上昇を契機に「スマホワールドの実現」に向けて、スマートフォン用アクセサリ等の関連商材・サービスの拡販やタブレットの提案を強化いたしました。

ソリューション事業においては、各種サポートサービスの販売が好調に推移し、法人向けモバイルソリューションにおける収益は前年同期並みを確認いたしました。固定回線系商材の販売が低調に推移いたしました。

決済サービス事業他においては、新たな商材の開拓を推進したことに加え、海外事業の展開に積極的に費用を投じました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高4,640億92百万円（前年同期比8.9%減）、営業利益96億93百万円（同15.4%増）、経常利益96億37百万円（同15.5%増）、四半期純利益53億33百万円（同16.1%増）となり、前年同期比で増益に転じました。

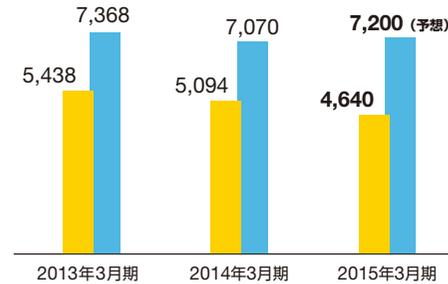
### 配当の推移



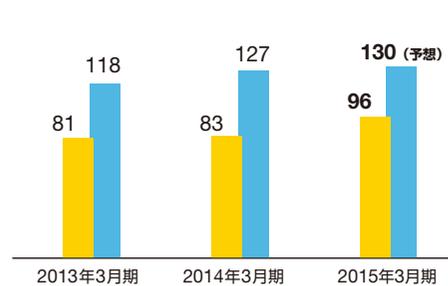
※2012年3月期以前の数値につきましては、2012年10月1日に効力が発生した普通株式1株を200株とする株式分割を勘案した数値を掲載しております。

## 第3四半期連結業績ハイライト

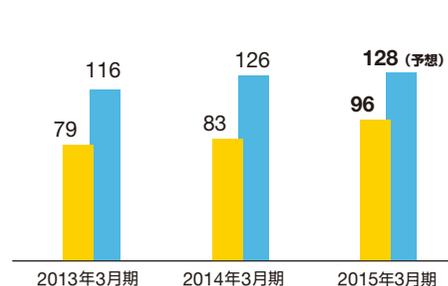
### 売上高 (億円)



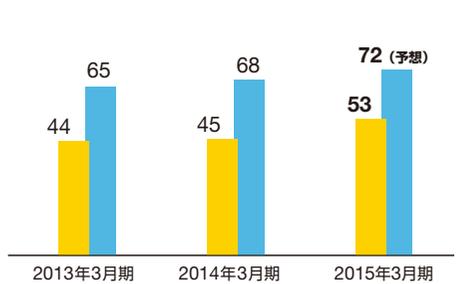
### 営業利益 (億円)



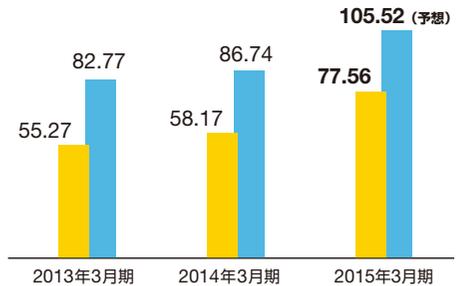
### 経常利益 (億円)



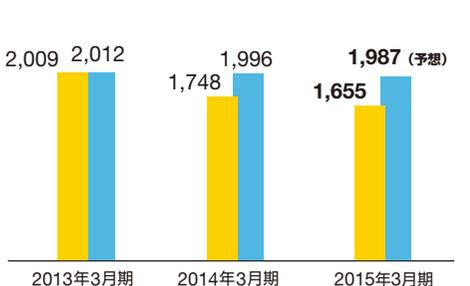
### 四半期(当期)純利益 (億円)



### 1株当たり四半期(当期)純利益 (円)



### 総資産 (億円)



※2013年3月期の1株当たり当期純利益につきましては、2012年10月1日に効力が発生した普通株式1株を200株とする株式分割が期首に行われたと仮定して算定しております。